

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台



発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっぴ編集室



<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/sais/in.html>

みなとっぴ

Takanawa
Community News Magazine



色鉛筆画 ジョアンナ 「作者」 大沼信之さん（高輪在住）
白金にあったバーの、マスコット犬ジョアンナ。カウンターに首をのせて、上目づかいにこちらを見たところを、絵に。

CONTENTS

2 街が変わる
進む品川駅周辺開発

3 この街にこの人あり
西田 宏子 さん
(根津美術館顧問)



4 5 地域のあしあと
高輪地区の「道」その2 二本榎通り

6 地域で活躍する若者
ヴァイオリニスト 服部百音さん

6 おすすめ料理 (野菜たくさんミートソース)

7 地域で賑わうイベント
第9回白金阿波踊り
高輪泉岳寺盆踊り大会
高輪神社例大祭

8 区からのお知らせ

SF作家の散歩道

いつの頃からか私は、TV番組は録画しCMをスキップしている。時間短縮で快適だ。最近、昔読んだSF作家「ポッコちゃん」で有名な星新一の作品を思いだした。主人公は発明家の博士、自動的にCMの間は眠りに落ち、休息時間に充てるという自らの発明品を愛用している。やがて博士に天寿を全うする日が訪れ、息子は、テレビでよくCMしている「老後を1割のばせる」という薬を使っていれば、もっとお元気でいられたのにと嘆く。博士は「いままで見ないで来た、コマージュの時間だ。それを見なおすなら、そのぶんだけ長生きさせてやると言われても、わしは断るよ」※1とにっこり笑い静かに目を閉じる。

読んだのは、もう数十年前、記憶が定かでないので調べてみた。この作品名は「むだな時間」、昭和37年発行の『ボンボンと悪夢』に収められている。日本で初めてCMカットと呼ばれる、CMを録画しない機能が搭載された録画機が発売されたのは平成2年。星はその商品が世に出る遙か前に、このアイデアを思いついていたということになる。

平成7年発行の『きまぐれ散歩道』で、彼は高輪について書いている。母方の祖父の墓が泉岳寺にあり、たびたび訪れる機会があったそうだ。泉岳寺から小道を抜けてぶらぶら歩くのが好きだったらしい。緑が多く、マンションの合間にある神社やお寺が息抜きになり、おとな好みの空気が貴重だ。「高級住宅地なのだろうが、高級さをひけらかさないところがいい」※2としている。未来を舞台にした作品を多数書いた彼が好んだのは、この街の歴史の残る風景だった。彼は晩年、高輪に転居し、平成9年東京船員保険病院（現東京高輪病院）で亡くなった。

彼の没後、南北線が全線開通し、品川に新幹線の駅が出来、さらにこれからも高輪地区は変わっていく。ふと迷いこみたくなる小道、古びたポンプの付いた井戸、何故こんなところにあるのかと訝しく思う立派な石灯籠、生い茂った木々。彼が惹かれ彼を引き寄せたこんな魅力を愛している人は多いことだろう。次世代に残したい、地域の持つ雰囲気である。新しい街には無い、これらの魅力を活かした開発であって欲しい。

※は以下より引用

星新一著「むだな時間」(新潮文庫刊「ボンボンと悪夢」所収)(※1)

星新一著「高輪」(新潮文庫「きまぐれ散歩道」所収)(※2)

街が変わる

— 進む品川駅周辺開発 —



明治32(1899)年に開通した当時の路面電車(京浜急行電鉄のホームページより)

左の建物が旧京浜急行電鉄本社(昭和56年撮影、京浜急行電鉄より)



京急本線(泉岳寺駅～新馬場駅間)連続立体交差化計画

品川駅周辺では、田町駅～品川駅間の新駅設置・JR車両基地跡地開発、リニア中央新幹線ターミナル駅整備など、大きな変化が予想される。

また、東京都では、京急本線(泉岳寺駅～新馬場駅間)を連続的に立体化して、道路との平面交差を解消する連続立体交差化を計画しており、このたび、京浜急行電鉄株式会社品川開発推進室の担当者にお話をうかがった。

京浜急行電鉄は関東の電気鉄道では最も歴史がある。京浜急行電鉄の前身となる大師電気鉄道が明治31(1898)年に創立し、翌年に川崎～大師間で路面電車による運転を開始して、今年で120周年を迎えた。現在、京急本線は泉岳寺駅～浦賀駅間で運行している。

現在、京急品川駅の南側八ツ山橋付近には3ヶ所の踏切があり、通勤時の時間帯などでは開かずの踏切となっている。連続立体交差化計画の実現により、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られる。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現される。

京急品川駅地平化計画

連続立体交差化計画の中で、京急品川駅は、2階部分にあるホームを現在の位置より北に移動し、地平化することにより、JR各線と同じ高さの1階部分に、2面3線から1線増えて2面4線のホームをつくる。

地平化および2面4線化のメリットは、品川駅の東西の街を連絡する東西自由通路に京急品川駅の改札口が面することにより、分かりやすい駅配置となりJR各線との乗り換えがスムーズになることや、下り線ホームに羽田空港方面と横浜方面それぞれ専用番線を配置することにより分かりやすく利便性の高い駅へと変わることである。

また、京急品川駅の地平化に合わせて、この東西自由通路をさらに西側に延伸し、国道15号(第一京浜)を跨ぎ、品川GOOSのある向いの街区に連絡する計画もある。さらに、国道15号上空の空間を活用した次世代型交通ターミナルをつくる計画も国土交通省が発表した。(*)

現在の品川駅前には車と人が錯綜しているが、これらの計画により車と人の立体的な分離が図られるとともに、高輪方面から品川駅へのアクセスおよび安全性の向上につながる。

(*) 詳しくは東京国道事務所ホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/shinagawa/index.htm>) をご覧ください。

進む品川駅周辺開発

リニア中央新幹線のターミナル駅整備、羽田空港の国際線の増便などから、これからますます品川駅は日本の玄関口として役割を担うことになる。

品川駅周辺開発構想も着々と進められている。2020年には、田町駅～品川駅間の品川新駅(仮称)の暫定開業、その後、品川新駅(仮称)周辺のJR車両基地跡地開発、環状4号線の鉄道線路を跨ぐ高架陸橋の整備、品川GOOSを含む品川駅西口地区の整備など開発計画は目白押しである。

京急品川駅の改良、泉岳寺駅～新馬場駅間の連続立体交差の早期の実現が待たれるが、鉄道を走らせながらの工事なので、10年程度の工事が見込まれるとのことである。

品川駅の更なる利便性の向上・交通結節機能の強化に向けて、連続立体交差化の実現に期待をしたい。

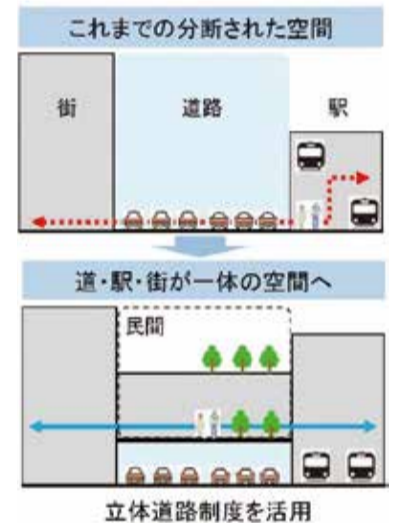
横浜側から見た品川駅西口駅前広場の機能イメージ

※将来必要となる機能をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません



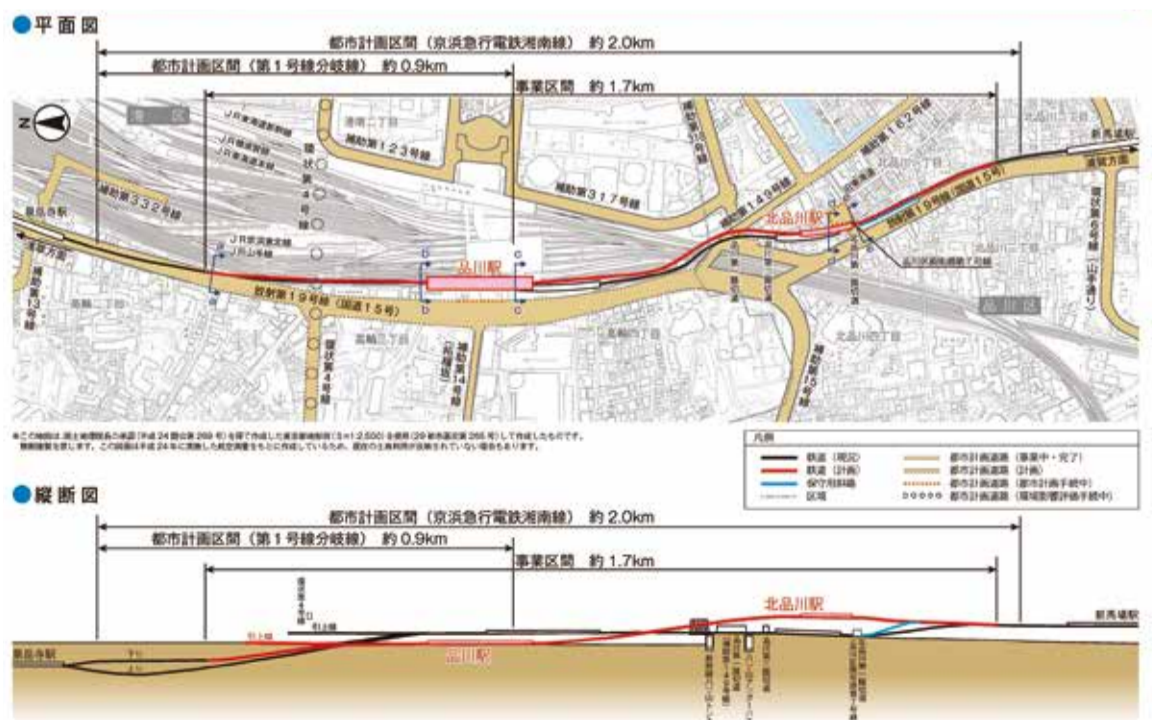
(引用資料 国土交通省関東地方整備局)

国道15号・品川駅西口駅前広場の整備方針



(引用資料 国土交通省関東地方整備局)

連続立体交差化計画の概要図



(連続立体交差化パンフレットより)

この街にこの人あり

根津美術館顧問 西田 宏子さん

やきものは世界に通用する言語です

陶磁器に興味を持たれたきっかけは

17世紀に日本の磁器が海外に輸出されていたことを聞き、どのような磁器なのか知りたいと思ったのがきっかけです。

オランダやイギリスに留学されましたね

東京大学史料編纂所の先生から海外留学を勧められました。

ヨーロッパへ輸出された日本磁器を調査するため、そして日本磁器はヨーロッパ陶磁器にどのような影響を与えたのかを研究するために留学することにしました。

「やきものは世界に通用する言語ですよ」という先生の言葉が留学する決心を後押ししました。

当時、留学試験は難関でしたが、留学志望者の多くは理工、医学系の男性で、文学系の女性の受験者は私一人でしたので、運よく合格することができました。

最初1年半はオランダのハーグで過ごし、ついでイギリスのオックスフォード大学大学院で4年間研究し、日本の輸出

磁器の研究で博士号を頂きました。

オックスフォード大学時代の思い出は

肺炎になったことでしょうか。大学の寮に入っていました。2、3日高熱が続いた時に、大学の担当医が風邪だから風呂に入れば治ると言うので、入りましたが、さらに高熱が続き、結局入院することになりました。病院で検査したら肺炎にかかっていたのです。

博士号を取得してから、どうされましたか

大学の指導教授はイギリスに残らないかと強く勧めてくれましたが、日本に帰らなかったため、帰国しました。ところが日本では職が見つからず、その間一時、韓国の大学で教える傍ら、韓国の陶磁器の研究をしていました。

根津美術館にはいつ頃から勤められましたか



【プロフィール】 西田 宏子 (にしだ ひろこ)

根津美術館顧問。昭和14(1939)年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部、英国・オックスフォード大学大学院を卒業。哲学博士。昭和56(1981)年根津美術館学芸課長。平成6(1994)年より根津美術館副館長兼学芸部長。2014年から顧問。専門は東洋陶磁史。著書『日本陶磁体系22九谷』など多数。

帰国してから5年経つてようやく、根津美術館に勤めることが出来ました。展覧会を企画する仕事を中心に現在まで勤めています。現在は顧問として働いております。

日本の磁器についてお尋ねします

日本の磁器は朝鮮の陶工が日本に来て始めたと言われています。現在の佐賀県有田で初めて磁器が完成し、やがて伊万里焼、柿右衛門、鍋島など独自の様式の磁器が作られました。オランダ東インド会社を通じて、日本の磁器がヨーロッパなどに大量に輸出されています。マイセンやセーブルでは、日本の磁器の影響を受けて柿右衛門風の製品が焼かれました。

ヨーロッパ各地の城館には日本の磁器が多く収蔵されていますが、バブルの頃、日本へ買い戻されてしまい、当時の様子がわからなくなったのは残念なことです。

よく海外に出張されているのですが、海外でどんなお仕事をなさいますか

日本の陶磁器についての研究会に参加したり、講演や調査などが主です。海外では工芸品、陶磁器などについて関心が高いので、お話しをする機会があります。

これからどんなお仕事をしていきたいですか

もっと日本の美術や文化を世界に伝えていきたいと思っています。現在では、世界の美術館で東洋美術とは、中国や韓国の美術の展示が中心になっています。このままでは、日本の美術・文化が世界で忘れられた存在になってしまいます。

高輪地区に何年位お住まいですか。またお住まいになってどのようにお感じになりますか

昭和50(1975)年から高輪地区に住んでいます。以前は千代田区一番町に住んでいました。私が留学中に父が引越を決めました。高輪地区は静かで住むにはよい環境です。地下鉄南北線ができ、便利になりました。

チャレンジコミュニティ大学に入学された動機は

妹がチャレンジコミュニティ大学を卒業しており、入学したらと勧められました。地域になにかお役に立ちたいと思いました。地域防災の講習会に出たり、三田4丁目の夏祭りのお手伝いをさせて頂いています。

根津美術館は2009年にリニューアルされていますが、そのポイントは

根津美術館は、昭和16(1941)年に初代根津嘉一郎の屋敷だった現在の場所が始まり、2代嘉一郎が昭和29(1954)年に美術館を建てました。建築家今井兼次、内藤多仲設計の名作でしたが、耐震性の問題や建物の老朽化が進んだので、平成21(2009)年に新しくなりました。建築家隈研吾氏の設計で和の表現を受け継ぎながら、美しい庭を背景に作品をご覧になれるホールが特徴です。庭がよく見える三方をガラス壁で囲まれたカフェも魅力の一つです。

根津美術館の今後の展示について教えてください

10月20日から12月16日まで、「新・桃山の茶陶」という特別展をいたします。桃山の茶陶は和物茶陶ならではの魅力にあふれ、日本を代表するやきものの一つです。京都で出土した資料作品とともに、最新



根津美術館



重要文化財 風志野茶碗 銘山の端 美濃 施釉陶器
日本・桃山～江戸時代 17世紀 根津美術館蔵
(特別展「新・桃山の茶陶」で展示)

の桃山の茶陶の世界をご覧いただけます。ぜひ、お出掛けください。

取材を終えて

静かな語り口でしたが、これまで強い自分の信念に基づき、過ごされてきた生き方に感銘をうけました。取材スタッフ、終わった後、庭のカフェでおしゃべり。素敵な時間を過ごしました。

(担当)安藤、松島、滝川、明石、黒瀬、森

高輪の太刀

二本榎に名刀があったのをご存知ですか？今から約300年前、高輪1丁目辺りに萬屋萬兵衛という大商人がいました。その彼が刃渡り約2.5メートルの大太刀を丸山神社に奉納、商売繁盛を祈願しました。以来街の人々は、この太刀を担ぎ町内を渡り歩き、太刀の下をくぐって家内安全・無病息災を祈る祭事が20年ほど前まで行われていました。高輪神社祭礼時に丸山神社前で抜き身を披露していましたが、現在は神奈川県にある大山阿夫利神社下社に安置されています。



大太刀を持つ大太刀講の皆さん(昭和44(1969)年頃)

高輪消防署二本榎出張所

明治41(1908)年に芝区二本榎に建設され、昭和8(1933)年12月にドイツ表現主義の影響を受け曲線的な形態の近代建築として落成しました。鉄筋コンクリート造り、地上3階建、その上に、望楼も構築され、東京湾が一望できたそうです。それ以後、80年以上の長い間、高輪を守り続けてくれている消防署です。

所長に、この二本榎出張所の歴史や沿革を伺い、その後、建物の中を案内していただきました。昭和の初めに、



高輪警察署に配置された国産第一号の消防車

ドイツの流れを汲む素敵な建物が建設出来たことに驚きました。

是非、訪問されては、いかがでしょうか。(見学可、10名以上要予約)

創業101年の洋服屋さん
1964年東京オリンピック選手団のユニフォームを作ったフジイテラー

創業67年の中華料理店
菜香亭

300年以上続く区内で一番古いといわれる花屋さん
花藤

高輪教会
(日本キリスト教団)
建物はライト式建築
島崎藤村が洗礼を受けた

地域のおしあと

高輪地区の「道」

その2

●二本榎通り

今号では前号に続く「道」シリーズその2として「二本榎通り」を取り上げます。沿道の寺院、商店など昔からの時代を反映する姿とともに古来より現代につながる「道」の歴史をたどります。

興意親王(1576~1620)墓 (正親町天皇皇孫)

宮内庁が管理する陵墓4つが都内にあり、その1つがこの墓。17世紀初頭、徳川が豊臣を滅ぼすきっかけの1つとなった京都方広寺鐘樓の銘文(国家安康)を書いた科で、親王は失脚。後年秀忠に許され、旧伏見城二の丸御殿を自坊として拝領。その御礼言上のため江戸へ下向。高輪廣岳院滞在中に、突如薨去されました。今でも毎年11月1日に宮内庁によって拝礼が行われています。



二本榎の賑わい

大石良雄外十六人忠烈の跡

大石内蔵助良雄ら17人が切腹した所。当時は熊本藩54万石細川越中守の下屋敷でした。明治から大正にかけては高輪御所や東宮御所になったこともあります。切腹の跡地は高松中学校の塀の一部を囲って旧細川邸の庭園として保存されています。4月の高松桜まつりの時に公開されます。



江戸名所図繪 覚心寺・承教寺繪図 港区郷土歴史館蔵(現二本榎通り)



(大正7(1918)年当時)創業百周年のお団子屋さん 松島屋

創業百周年のお団子屋さん
松島屋

桜田通り

天神坂

魚籃坂

伊皿子坂

桂坂

高輪警察署

高輪台小学校

松光寺
細川家屋敷の遺構が残る

廣岳院
創業72年の豆腐屋さん 真水とうふ店

創業65年の和菓子屋さん 玉川屋惣八

創業80年の古道具屋さん 諸道具みやた

創業128年のお茶屋さん さつき濃川上園

創業7年の中華料理店 菜香亭

創業101年の洋服屋さん 1964年東京オリンピック選手団のユニフォームを作ったフジイテラー

高野山東京別院

江戸時代、高野山学侶方の江戸在番所として、慶長年間(1596年~1615年)に浅草日輪寺に寄留して開創しました。明暦元(1655)年幕府より芝二本榎の地を下賜され、延宝元(1673)年高野山江戸在番所高野寺として完成されました。明治になり、在番所が廃止され、葛飾牛島の長寿寺から、名蹟を移して、存続を図りました。昭和2(1927)年高野山東京別院に改称され、高野山金剛峰寺の座主が住職を兼ね、以来、東京における高野山真言宗の拠点として、活動を行っています。御府内八十八ヶ所の一番札所、江戸三十三観音の二十九番、関東八十八の所の特別霊場です。

虎屋(老舗の和菓子屋さん)
昭和初期に銀行として建てられ、後に菓子店舗として改築された。(現在休業中)

大石良雄等自刃ノ跡

スリランカ大使館

ウズベキスタン大使館

(碑) 歯科医学教育発祥の地

高輪皇族邸

昭和2(1927)年高松宮宣仁親王邸は千代田区永田町(旧有栖川邸)より高輪一丁目の高輪御料地内仮御殿に移転した。同地は江戸時代、大石良雄らの切腹地として知られる肥後細川家の屋敷跡です。

太平洋戦争後、広大な敷地は高松宮宣仁親王の意によって縮小され、払い下げられた場所には戦災者、引揚者の住宅、港区立高松中学校や現在の高輪区民センターなどが建てられました。高松宮両殿下は、職員官舎に移られ、敷地内の本邸も開放「光輪閣」とし、当初は貿易庁の迎賓館として使用され、昭和24(1949)年に至り、「光輪閣」は「国際親善及び文化の振興」のための運営、結婚式場などにも貸し出されました。2019年4月に今上陛下が御退位の後、高輪皇族邸は赤坂の仙洞御所が整備される間の仮御所として使用されます。



光輪閣(高松宮本邸)※現在は無い

地域で活躍する
若者

《世界の舞台で活躍する音楽大学1年生》

— ヴァイオリニスト 服部百音さん —

海外でも数々の賞を受賞する若きヴァイオリニストが高輪地区にいらっしゃいます。お父様は本紙35号で取材させて頂いた、作・編曲家の服部隆之さん。音楽一家の中でどのような生活をされてきたのか、服部百音さんにお話を伺いました。

ヴァイオリンに捧げる人生

5歳でヴァイオリンを始めるまでは、バレエやピアノを習っていました。しかし、身体が硬かったり好きになれなかったりと自分に合わず、ヴァイオリンに落ち着きました。やめたいこともありました。人生のなかで真剣に取り組めることはいくつもないと考えると、続けられました。

音楽でつながる同世代の友達

現在は、スイスのザハール・ブロン先生のアカデミーと、桐朋学園大学に在籍しています。スイスにはレッスンのために通い、桐朋学園大学には実技だけでなく音楽史などの講義も受けに通います。私は、大学に入学するまで、同世代との接点が殆どありませんでした。海外生活が長かった為です。しかし、大学入学をきっかけに、友達と出かける機会が増えました。友達とは学校の帰りなどに食事に行くことが多いです。喫茶店に行ったりラーメン屋さんに行ったりもします。



エイベックス本社にて

日本での生活

生まれた場所は世田谷区です。1歳の頃に高輪地区に引っ越してきました。私立の小学校に通い始めましたが、宿題と音楽との両立が出来なくなり、地元の三光小学校に通いました。しかし、小さい頃はブロン先生についていく生活で様々な国を訪れていたため、海外生活が中心でした。今は、大学に入ったことで日本での生活が中心です。父の散歩について、高輪地区を歩くこともあります。



ロンドン・テンプル教会にて(2017年6月)

(担当/戸部田、森、伊関)

取材を終えて

ヴァイオリンを生活の中心にすることの難しさも伺うことが出来ましたが、それを乗り越えて大学生活を楽しむ百音さんの生き活きた姿が印象的でした。

高村資子さん(三田4丁目在住)の
おすすめ料理

野菜たくさん、コクのあるミートソース

- 材料(2~3人分)
- 牛ひき肉(合挽きでも)..... 300g
 - 玉ねぎ 1個
 - 人参 1本
 - にんにく 1片
 - セロリ 1本(葉も使用する)
 - 干しシイタケ 30g(5個位)
 - キノコ
(エリンギ、マッシュルームなど家にあるもの) 適量
 - トマト缶 1缶
 - ケチャップ 少々
 - コンソメ 1ヶ
 - 月桂樹 2枚
 - バジル 4~5枚
 - パセリの茎 2~3本

- 塩、黒コショウ 各少々
- オリーブオイル 適量
- ブルーネエキス
..... あれば大匙2杯
- トッピング用チーズ
(パルメジャーノなど) ... 適量



- 作り方
- ① 干しシイタケは前の晩から水につけて冷蔵庫で戻すとうまみが出ます。
 - ② 野菜(にんにく、玉ねぎ、にんじん、干しシイタケ、キノコ類、セロリ)はみじん切りにする。深鍋にオリーブオイルを入れ野菜を3~4分炒め、ひき肉を加えて、強火でよく炒める。
 - ③ 充分(10分位)炒めたらシイタケのもどし汁、トマト缶、コンソメ、月桂樹、パセリの茎を加え、塩、コショウ、ブルーネエキス、ケチャップで味をととのえ、アクをとる。
 - ④ 中火にして時々焦げないようにかき混ぜながら、蓋をして30分以上煮込む。
 - ⑤ 煮込んだソースを茹でたパスタに掛け、チーズとバジルをトッピングして、出来上がり。

ひとこと
アドバイス 干しシイタケの味が決め手となります。シイタケのもどし汁も入れるのがポイント。

付け合わせにピクルスをおすすめ

- あり合わせの野菜(セロリ、にんじん、キュウリ、パプリカ、ミニトマトなど)を好みの大きさに切ってさっと茹でる。ミニトマトは湯むきし、うずらの卵も茹でて皮をむく。つけ汁と一緒にガラス器に入れて、1~2時間漬ければ、食べられます。
- つけ汁
- 酢(リンゴ酢や白ワインペネガーなどお好みで) 1カップ
 - 水(沸騰させて冷ます) 1カップ
 - 砂糖 適宜(液体のオリゴ糖を使うと溶けやすい)
 - 赤唐辛子 1~2本
 - 月桂樹 1~2枚
 - 黒コショウ 5~6粒
 - ニンニク 1片
- ★つけ汁は、市販のピクルス用のものを使ってもよいでしょう。

(担当/松島、吉田)

地域で賑わうイベント

夏から秋にかけて、高輪地区では毎年たくさんのお祭りが開催されます。今回は、それら地域のお祭りに参加して、楽しんでいらっしゃる方々を紹介します。
♪～踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿保なら踊らにゃ損々～♪

第9回 白金阿波踊り (平成30(2018)年 7/15)

いまや北里通りの夏の風物詩。商店街の屋台や、各地域から招いた連(注)によるパレード、一般客も参加できる総踊りなどが大盛況。

(注)連:同好の士や、企業・学校・団体等を単位に結成され、踊り子と鳴り物(三味線・太鼓・横笛等)で構成される、総勢30～50人から成る踊り子グループ。

●北里通りで行われた天水連による演舞パレード



6年前から神楽坂連で踊ってます。踊りはきつけど、たくさんの人に見てもらって気分は最高。一緒に踊れば、子どもからおとなまで気持ちが自然と一つになります。

(白金地区在住 笹原さん)

●三光児童遊園での総踊り。神楽坂連の高張提灯を持つ笹原さん



現在白金地区の連を作ろうと準備を始めてます。

(白金北里通り商店会会長 佐藤さん)

高輪泉岳寺盆踊り大会 (平成30(2018)年 8/25.26)

子どもたちの元気な和太鼓演奏で幕を開けた高輪泉岳寺盆踊り大会。たくさんの提灯に囲まれた明るい櫓(やぐら)の周りに、人々の大きな踊りの輪が広がりました。



●お揃いのどんぶり(紺の腹掛け)の伊皿子坂保育園の年長さんたち

●踊りをリードし、祭りを更に盛り上げてくれた「えんの会」の皆さん



好きが高じて数年前に、私が会を作りました。豊岡町会第一会館で月一回練習してます。練習には来れる時来ればいい、という自由さがモットー。皆さん、仕事も遊びもばりばりの方が多いです。一般の人も踊りに入りやすいよう、あえて浴衣は揃えてません。気の合う仲間同士、練習後の懇親会も大きな楽しみです。

(えんの会代表 岩崎さん)

高輪神社例大祭 (平成30(2018)年 9/8～9/10)

神様が、お神輿に乗ってみなさんの処におでましになるのが、^{とぎよ}渡御(練り歩き)です。年に一度の、神様の家庭訪問のようなものです。(高輪神社^{ねぎ}禰宜 瀧さん)

●高輪消防署二本榎出張所前に集合したお神輿



40年くらい前、自分たちの町のお神輿を担ごうよ、と西町自治会員を中心にお神輿を担ぐ会を作りました。夫婦、親子でのメンバーも多く、ファミリーで地域の伝統行事を守るお手伝いをしています。

(高輪睦会会長 柳町さん)

●拍子木を叩いてお神輿に運行指令をだす水島さん



高輪台駅の近くに一人暮らしで引っ越してきて、地元の飲食店に通ううちに、だんだんからめとられていっちゃって。地元の人と結婚して、今では腰まで浸かってる感じ。夫も参加してます。お神輿の楽しさ? アドレナリン出して、地べたに座ってビール飲むことかな。

(高輪睦会副会長 水島さん)

商店街スマイル応援団募集中!

今回紹介した阿波踊りをはじめとして、地域コミュニティの核を担う商店街のイベントを手伝っていただけるボランティア(「商店街スマイル応援団」)を募集しています。◆申し込み・問い合わせ◆港区役所 産業振興課産業振興係 ☎03-3578-2551

(担当/佐藤、平尾、森、伊関、黒瀬)

区からのお知らせ

シティプロモーションマーク

「港区シティプロモーション戦略」に掲げる区の6つの都市イメージを表すイメージカラーで染め上げた「のれん」をモチーフにしています。風にゆれる3つに割れた「のれん」は港区の頭文字のMの形にもなっています。

6つの都市イメージ

- ① 国内外に開かれ多様性を受け入れる都市
- ② 文化芸術の彩と歴史が息づく都市
- ③ 安全で安心できる都市
- ④ アクセシビリティに富んだ便利な都市
- ⑤ 街並みの美しさで魅了する都市
- ⑥ 温かい優しさで活気に包まれる都市



高輪地区老人クラブ加入のご案内

～地域で新たな「輪・和・〇」を広げてみませんか。～

老人クラブは、地域の高齢者（おおむね60歳以上）で構成された会員数30人以上の団体です。高齢者の生きがいと健康づくりを目的として、会員相互の親睦を深め、健康を推進するいきいき体操などの活動をいきいきプラザ等で、さらに歩道清掃などの社会奉仕活動等を行っています。

申し込み

お住いの地域で、加入できる老人クラブを紹介していますので、加入を希望する人は、下記連絡先へお問い合わせください。加入手続きは、直接各老人クラブでお願いします。

費用

年額500円～2500円程度で、老人クラブごとに会費が定められています。



高輪地区老連輪投げ大会の様子

【問合せ先】 高輪地区総合支所協働推進課協働推進係 TEL:03-5421-7621

コミュニティ・カフェ高輪

高輪地区CCクラブが中心となり運営しているカフェです。地域の人々が気軽に集い、交流する場をつくることで、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に開設しています。お誘い合わせの上、気軽に当日直接カフェにお越しください。

- 対象** どなたでも
- 日時** 毎月第2・4金曜日
午後1時30分～4時まで
- 場所** 高輪コミュニティぷらざ2階
展示ギャラリー前
- 料金** 無料



高輪地区CCクラブ
高輪地区総合支所
高輪区民センター

※高輪区民協働スペース(HUG高輪2階)でも毎月第3火曜日午後1時30分から4時までカフェをオープンし、ミニ講演会も開催しています。



コミュニティ・カフェの様子

※白金台区民協働スペース(ゆかしの杜6階)で新たなカフェをオープンしました。毎月第3金曜日午後1時30分～4時。11月は23日(金)です。

11月は個人事業税第2期分の納期です

11月30日(金)までに、お手元の納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等でお納めください。また、省エネ促進税制に係る減免の申請も受け付けています。詳細は、HPまたは下記問合せ先へ。

【問合せ先】 港都税事務所 TEL:03-5549-3800 (代表)
<課税について>個人事業税班 <納税について>徴収管理班

大法人の電子申告が義務化されます

平成30年度税制改正により、大法人が提出する平成32(2020)年4月1日以後に開始する事業年度の法人事業税・法人住民税の申告書及び申告書に添付すべきものとされている書類は、電子情報処理組織を使用する方法(eLTAx)により提出しなければならないこととされました。

制度の概要については東京都主税局のHPをご覧ください。

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとつづき バックナンバー

編集だより

取材することには体験する、人との出会い、地域の宝ものの発見。情報紙の編集に携わって感じる喜びです。(安藤)

「地域で活躍する若者」の服部百音さんは、本紙33号で登場したNHK交響楽団演奏所で、以前練習されたことがあるそうです。地域で音楽が育まれる、素敵なことですね。(戸部田)

数百年前もの人達が行き来した古道を同じように利用していると思うと引き継がれていく歴史の重みを感じてしまいます。(吉田)

根津美術館へ家族と同行し「禅僧の交流」を鑑賞し、高名な建築家の建物、緑豊かな庭園その他すべてに感激しました。(明石)

土地の古老に二本榎の話を知ると、興味深い事が沢山あり、とても書ききれません。号を改めて又書きたいと思いました。(伊関)

巻頭にも書かれた内容、私も共感しました。進化していく高輪地区の魅力を楽しみながら読者の方に伝えていけるといいですね。(織部)

高輪消防署の取材は、子供達も同行可ということで、孫達と一緒に歴史ある建物内部を見学させていただきました。貴重な体験が出来ました。(齋藤)

阿波踊りや盆踊り・お神輿担ぎ、等々。来年は何らかの形で、地域のイベントに参加してみたいな。(佐藤)

日本の陶磁器の専門家、西田さんによると、世界の美術館で、日本美術の展示がマイナーになっているとのこと。これからは、日本の美術や文化を世界に広く伝えていただきたいです。(滝川)

今回は盆踊りやお祭りの写真を撮りました。色々なところで盆踊りやお祭りが行われており、地域の人達が力を合わせて盛り上げていることを痛感しました。(平尾)

料理にも拘りが大切。食材の一つ一つにも思い入れがあるんですね。料理本のまましか作らない私には、今更ながらの驚きでした。(松島)

どのお祭りも参加者の笑顔が印象的でした。「商店街スマイル応援団」でのボランティアは、きつと楽しい出会いがあると思います。(森)

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チーフ) 織部 恵子 平尾 恭一
- 戸部田 伊織(サブチーフ) 黒瀬 尚美 松島 佐紀子
- 吉田 由紀子(サブチーフ) 齋藤 初美 道岡 洋子
- 明石 美穂子 佐藤 雅子 森 裕子
- 伊関 則子 滝川 まりえ

※この情報紙は、区が公募し応募のあった区民と、区との協働でつくられています。

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

5421-7612 / 保健福祉係

5421-7085